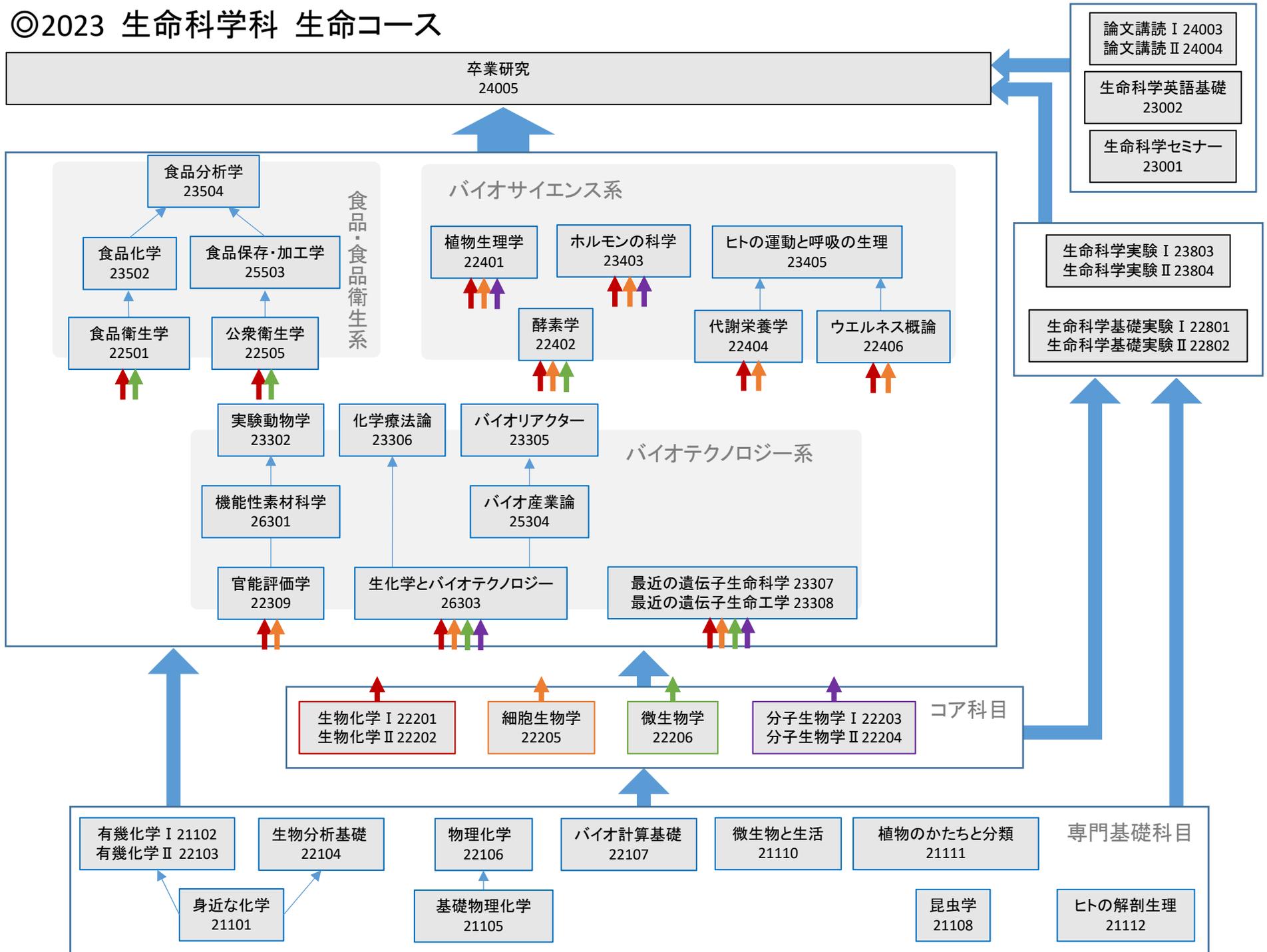
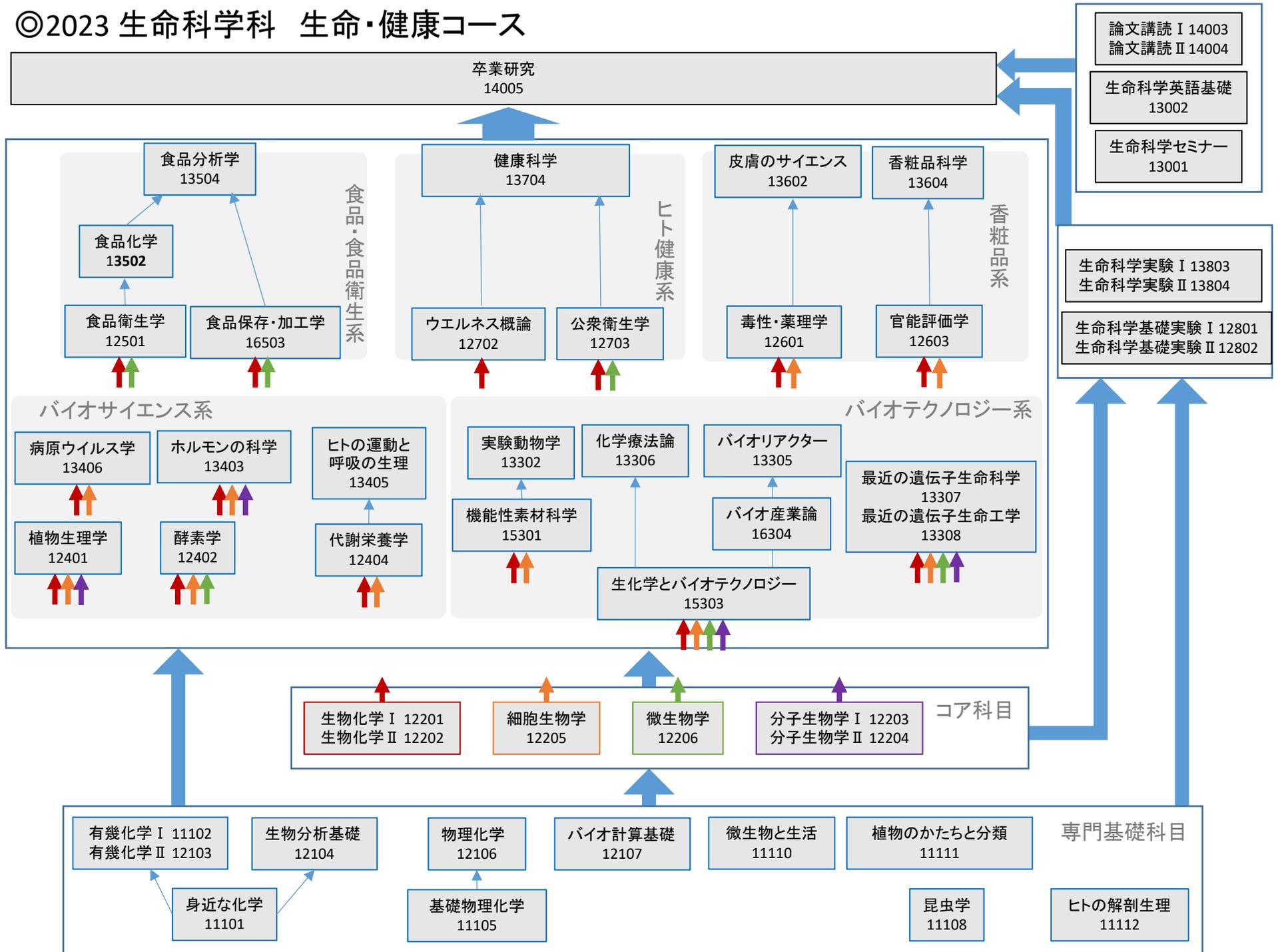


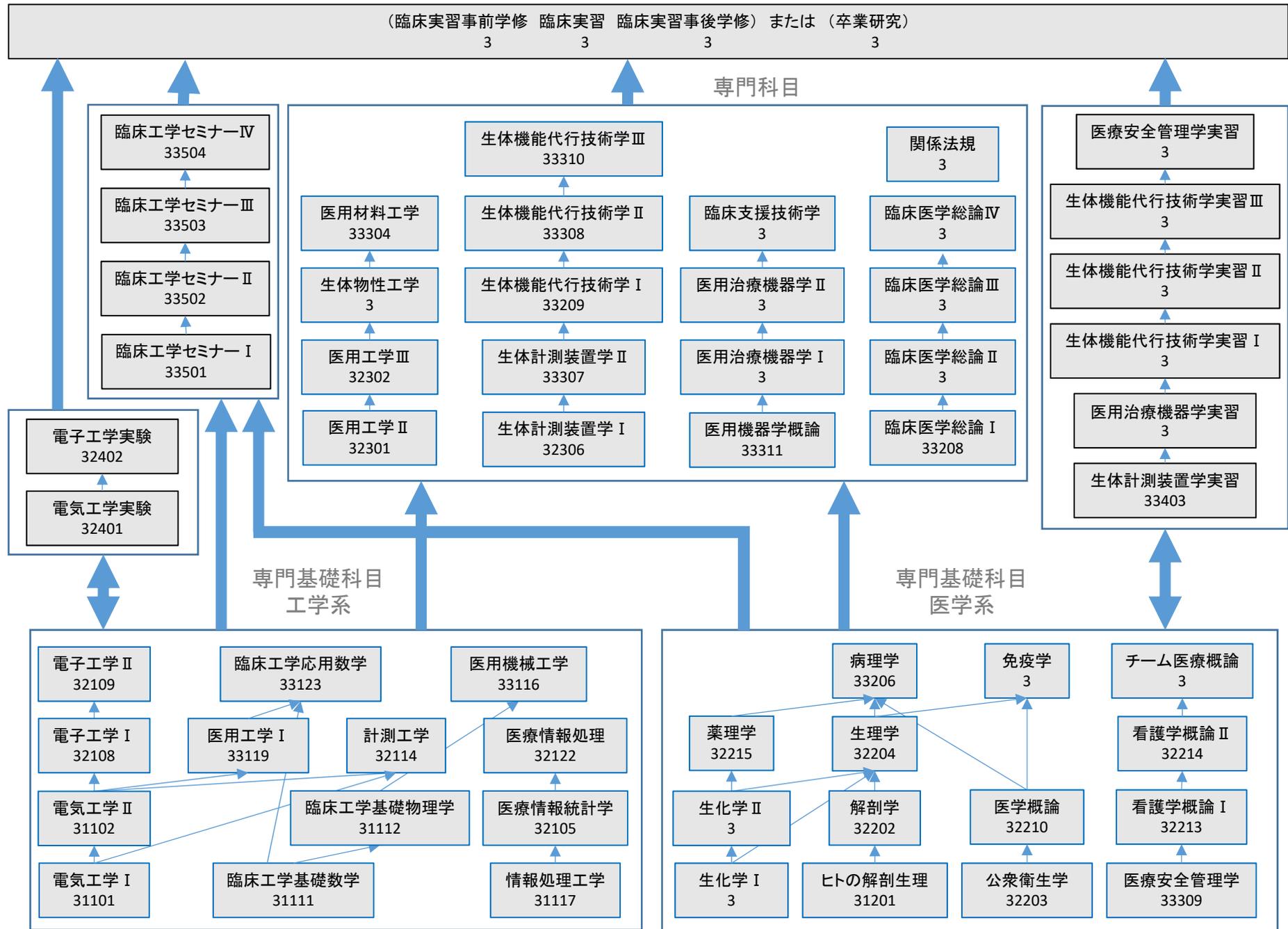
# ©2023 生命科学科 生命コース



# ©2023 生命科学科 生命・健康コース



# ◎2023臨床工学コース



# 2023 自然環境学科カリキュラムマップ

## 専門科目

卒業研究 73

自然環境セミナー 71

### マクロ生物学 (応用)

生態系の保全と再生 13 保全遺伝学 13

↑  
13a, 13b, 68 13c

環境適応進化学 13 森林生態学 13

↑  
13a, 13c 51, 69

### 環境科学

クリーンエネルギーシステム 64 グリーンケミストリー 64 環境計量と公害防止の化学 65

↑  
43, 44, 45 43, 45

電気化学 64 環境浄化と生物機能 67 人間活動と自然 68 生体親和マテリアル 66

↑  
43, 44 11, 12a, 12b, 12c 11 43, 45

### 実験・実習・演習

環境特別実習 I 73 環境特別実習 II 73  
環境生物学実験 72 環境生物学野外実習 73  
環境化学実験 72 環境科学野外実習 73  
環境科学演習 I 71 環境科学演習 II 71

### ミクロ生物学

植物ストレス生理学 12c 植物生理学 12d

分子生物学 11 細胞生物学 12a 植物栄養学 12b

### マクロ生物学 (基礎)

環境と生物多様性 13c 保全鳥類学 13d

環境破壊と野生生物 13a 水圏生態学 13b

### 化学

物理化学 44 有機化学 45

分析化学 42 無機化学 43

## 基礎科目

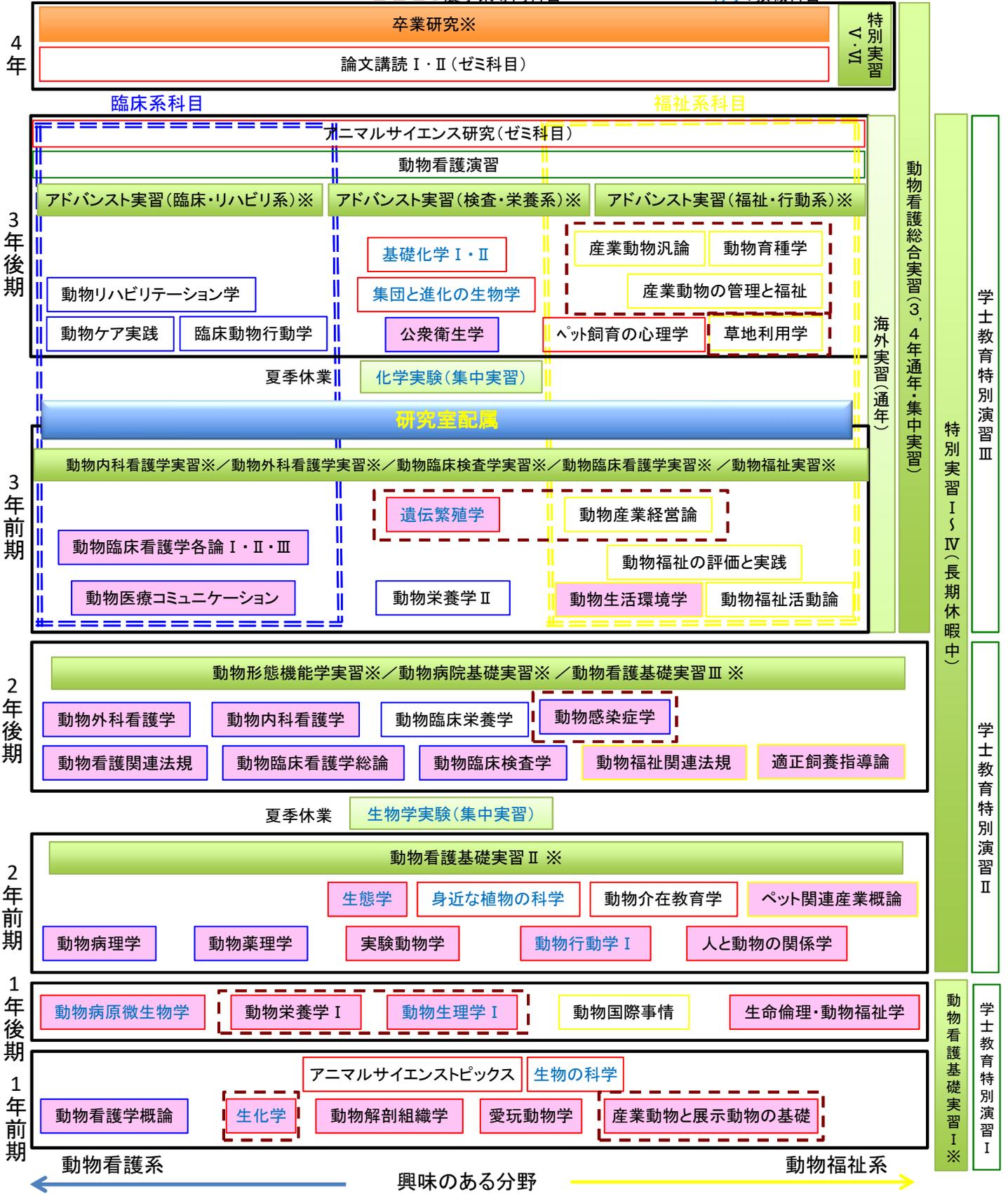
大気環境の科学 62 水環境の科学 63 環境機器分析 65  
基礎環境生態学 11 細胞生物学 12 環境科学概論 61 自然環境と地球科学 51 生物環境科学 67 基礎有機化学 45 基礎物理学実験 72 基礎環境科学実験 72

生物学 II 11 基礎植物学 11 基礎生化学 11 菌類自然史 11 統計学入門 22 数学 II 21 化学 I 41 化学 II 41 基礎物理化学 44

生物学 I 11 植物自然史 11 基礎動物学 11 昆虫学 11 数学の基礎 21 数学 I 21 物理学 I 31 物理学 II 31 地球科学 51

# 令和5年度入学生 アニマルサイエンス学科(動物看護福祉コース) カリキュラムマップ

  実習  
   専門基礎科目  
   動物看護専門科目  
   動物福祉専門科目  
   演習  
  愛玩動物看護師試験必須科目  
  食品衛生監視員任用資格対応科目  
 ※必修科目  
 青字: 教職科目  
  農学系専門科目



# アニマルサイエンス学科（東京西）専門科目カリキュラムマップ

2023年度入学生版

コース決定前に興味がある分野

1年生		2年生		3年生		4年生	
<p>陸生哺乳類学</p> <p>前期</p>	<p>後期</p>	<p>野生鳥類学</p> <p>水生動物学</p> <p>環境教育概論</p> <p>動物介在人間工学</p> <p>身近な植物の科学*</p>	<p>水生哺乳類学</p> <p>地域環境計画論</p> <p>遊び論</p> <p>生態学*</p>	<p>保全動物学</p> <p>景観デザイン論</p> <p>集団と進化の生物学**</p> <p>フィールド実習 I・II</p> <p>野生動物実習 I～IV</p> <p>アニマルサイエンス研究 I (ゼミ科目)</p>	<p>両棲・爬虫類学</p> <p>後期</p>	<p>野生動物コース</p> <p>前期</p>	<p>後期</p> <p>卒業研究</p> <p>論文購読 I (ゼミ科目)</p> <p>論文購読 II (ゼミ科目)</p>
<p>動物園水族館基礎論</p> <p>前期</p>	<p>動物病原微生物学*</p> <p>動物基礎栄養学</p> <p>後期</p>	<p>動物疾病学</p> <p>比較動物観学</p> <p>動物保健衛生学</p> <p>前期</p>	<p>ペット産業論</p> <p>動物検体検査学</p> <p>後期</p>	<p>水族館学</p> <p>動物園動物飼育展示論 I</p> <p>動物関係法規</p> <p>アニマルサイエンス実習 I～IV (飼育展示系)</p> <p>アニマルサイエンス研究 I (ゼミ科目)</p>	<p>動物園学</p> <p>動物園動物飼育展示論 II</p> <p>後期</p>	<p>アニマルサイエンスコース (飼育展示系)</p> <p>前期</p>	<p>後期</p> <p>卒業研究</p> <p>論文購読 I (ゼミ科目)</p> <p>論文購読 II (ゼミ科目)</p>
<p>伴侶動物学</p> <p>前期</p>	<p>動物行動学 I*</p> <p>アニマルトレーニング基礎論</p> <p>後期</p>	<p>動物生理学 I*</p> <p>動物解剖学</p> <p>前期</p>	<p>遺伝繁殖学**</p> <p>後期</p>	<p>動物行動学 II</p> <p>実験動物学</p> <p>アニマルサイエンス実習 I～IV (行動科学系)</p> <p>アニマルサイエンス研究 I (ゼミ科目)</p>	<p>イヌと行動の心理</p> <p>作業犬育成論</p> <p>後期</p>	<p>アニマルサイエンスコース (行動科学系)</p> <p>前期</p>	<p>後期</p> <p>卒業研究</p> <p>論文購読 I (ゼミ科目)</p> <p>論文購読 II (ゼミ科目)</p>
<p>人と動物の関係学</p> <p>前期</p>	<p>アニマルセラピー概論</p> <p>後期</p>	<p>アニマルセラピー実践論</p> <p>社会福祉概論</p> <p>動物福祉論</p> <p>HAIと比較認知科学</p> <p>動物介在教育学</p>	<p>セラピーアニマル育成論</p> <p>ペット飼育の心理学</p> <p>後期</p>	<p>馬介在介入</p> <p>臨床心理学</p> <p>アニマルセラピー実習 I～IV</p> <p>アニマルサイエンス研究 I (ゼミ科目)</p>	<p>応用動物行動学</p> <p>動物介在療法PDCA</p> <p>後期</p>	<p>アニマルセラピーコース</p> <p>前期</p>	<p>後期</p> <p>卒業研究</p> <p>論文購読 I (ゼミ科目)</p> <p>論文購読 II (ゼミ科目)</p>
<p>アニマルサイエンストピックス</p> <p>生物の科学**</p> <p>前期</p>	<p>生化学**</p> <p>後期</p> <p>飼育実習</p>	<p>前期</p> <p>特別実習 I</p>	<p>科学研究基礎実習 I</p> <p>科学研究基礎実習 II</p> <p>動物科学基礎実習 I</p> <p>動物科学基礎実習 II</p> <p>後期</p> <p>特別実習 I または II</p>	<p>基礎化学 I**</p> <p>基礎化学 II**</p> <p>海外実習</p> <p>特別実習 I または II、III、IV</p>	<p>化学実験**</p>	<p>前期</p>	<p>後期</p> <p>特別実習 V・VI</p>

研究室配属(コース決定)

- ・ 研究室所属前の各コース専門科目は、その時点で興味ある内容によって履修が可能です。研究室配属によるコース決定後であっても他コースの専門科目を履修することは可能です。
- ・ 学生の所属コースは、2年生終了時に仮配属される研究室によって決まります。4年生で正式な研究室配属(本配属)となり、そこで卒業研究に取り組むことになります。
- ・ フィールド実習 I・II は、2年生の春季休暇中に行われ、3年生前期に履修登録することにより単位として認定されることになります。
- ・ 海外実習の単位取得には、1年間通して行われる事前の準備、事後の報告等の活動が含まれます。
- ・ 特別実習は、夏季・春季休暇を含む課外時間に指導教官が認めた60時間以上の活動に対して単位が与えられます(I～IVは既得単位により増加します)。
- ・ 特別実習 V・VIは、指導教官が認めた240時間以上の活動であり、卒業研究の単位として読み替えることができます。
- ・ \*(アスタリスク)が付いた科目は、教職課程の単位としても加算されます。\*\*は、教職課程の必修科目を表します。
- ・ 黄色枠の科目は専門基礎科目で、コース以外の学生に対しても広く履修が望まれる科目です。赤字の科目名は、卒業のための必修科目を示します。